

一本杉通信

2017.12.25
猿橋学区ふるさと
交流実行委員会

volume 2

弁天島の秋



また、冬の催し情報も掲載しておりますのでお時間のある方は、ぜひ、あしをお運びいただき交流の輪を広げられたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

みなさん
お元気ですか？



実行委員会
委員長 高橋 久雄

一本杉通信 vol.2 2017年12月25日発行

発行者／猿橋学区ふるさと交流実行委員会

事務局／西和賀町ふるさと振興課

岩手県和賀郡西和賀町川尻 40-40-7 TEL: 0197-82-2111

猿橋学区からのお知らせ



新年交賀会・歳祝

平成30年1月1日(月)12:00頃～
会場：各地区公民館



雪あかり 2018in にしわが

平成30年2月11日(日)17:20～22:00頃
会場：西和賀町各地



同窓会やりました

沢内中学校第一期生 還暦祝い

平成29年10月9日、盛岡市のホテル大観にて、沢内中学校猿橋校舎第1期卒業生の還暦祝いを行いました。はなたれ小僧ももう60歳！ by 米澤清人談

出身者からのお便り

1号を読まれた出身者の方からの声を一部ご紹介します。

- 年に一度、帰省で感心するのは猿橋学区の道路がとてもきれいなことです。季節の花々もお手入れされていることが、700km近くドライブしてきてホッとします。大変だとは思いますがこれからもずっと、そして少しでも広げていくことで、訪れる方々が癒しを感じてくれるはずです。
- 昔から食べ継がれてるもの、創意工夫して出来たもの等、関東では食べられないものを食堂や宿泊施設などで提供していただけると、もっと旧沢内村のことに興味が湧いてくるように思います。四季のすべてを強く体感できる旧沢内村。水の美味しさも重ねてアピールしてください。

編集後記 実行委員のつぶやき…

- 川遊びの昔話、是非大先輩から聞いてみたいです！
- 冬は豪雪、厳しくても雪の自然造形芸術や多様な雪景色に出会えますよ。
- 豊富な山や川の幸は贅沢、それに里での畑は作り放題！勝手に作っての収穫は格別な喜び…。
- 春は雪解けとともに芽生える花と新緑それに豊富な山菜が楽しめます。



地区名

たかはし はつお
高橋 初夫さん (58)

奥さんと、ご自身のお母さん、娘さんとお婿さん、そしてその子供たちの4世代で暮らす。子供たちは小学3年生の咲ちゃんをはじめ、5歳の龍星くんまで全部で5人。総勢10人、家族で協力しあう普段の様子を聞いた。



弁天の大家族

四世代10人の大家族

私高橋初男の家族について話したいと思います。まず家族構成についてありますが、世帯主である私とその妻。そして私の母親。それから私の娘です。これから次の世代を守っていつてくれるであろう、娘の婿。そして小学校3年の咲。2年の双子である真紀と幸紀。1年生の絆。それからさんだん保育園の龍星と、四世代10人です。

ないかと思っています。

曲がらずに野良仕事も普通にこなしてくれていますし、ひ孫等の面倒もよく見てくれて、朝夕の学校の送迎バスにも出てくれます。むしろ私たち夫婦よりも頑張ってくれているのではない

でしょうか。
当の私は会社勤めであります。妻は嘱託職員。娘婿は31歳の会社員。娘は29歳で家の中のことをしながら、パートにも出ております。

子供5人の成長

子供5人が保育園の頃は何かと手がかかり、誰かが風邪でもひこうものなら、全員に移るまで風邪の菌が逃げていかない。という様な大変な日々を送っていました。上の子が少しだけ手がからなくなりはじめ、自分の事は自分でこなせる事柄が増えてくるにつれ、同じ世話をするのでも小さい頃よりはだいぶ楽になってきている様な気がしますし、下の子も姉さんのやることを真似るようになってきているので、これまた一安心といった所です。

頼もしい娘婿

私自身はもうすぐ定年を迎える歳になり、何かとせこける事柄ばかりが目立って増えてきているようにも感じられるこの頃。少し前ならこれ位のこと平気だったのに、体が思いの外動いてくれない。という毎日を過ごしています。

そこへいくと、娘婿はさすがに若いせいか、荒削りながらも仕事はバリバリこなすうえに早い。羨ましい限りです。地域の行事も積極的に参加するしうまく溶け込めています。何事も面倒くさがらない、とにかく頼り甲斐がある男です。

これからの我が家にとどまらず、地域のこともしっかりと支えていってくれるに違いないと思っています。



種まき



田植え



稲刈り



脱穀

ふるさとのいま 猿橋学区のわらしやだ

毎年沢内小学校では、5年生は地域の方々とJ A花巻の指導を頂きながら米作りを1年かけて体験します。今年で29年目を迎えました。

ヒメノモチの種まきから、田植え、稲刈りを経て、「千歯こき」や「足踏み脱穀機」など昔ながらの道具を使っの脱穀作業も体験しました。

今年は91kgの収穫量で、学区のボランティアの方々と一緒に餅をつき、感謝の会で味わいました。その他、町内の保育所や福祉施設に寄贈するほかP T Aバザーにも出品予定です。



泉沢在住

たかはし かねお
高橋 金雄さん (87)

旧猿橋小学校で8年間学び、花巻農学校（後の花巻農業高校）を卒業。中学校の理科教師として42年間教師生活を送る。定年後も旧沢内村教育委員会で2年間、社会教育指導員として勤務。現在は、妻のキミさん（80歳）と農業を楽しんでいる。

教師生活で印象深い出来事

理科教師であった金雄先生。最初の赴任地は川舟小学校で、後に沢内第二中学校に10年間、沢内第三中学校に10年間、その後は葛巻の馬淵^{まべち}中学校、湯田中学校、江釣子中学校を経て、沢内中学校で定年を迎えた。

江釣子中学校赴任時、この長い教師生活で忘れられない出来事があったそう。当時素行の悪い生徒がいて、あまりのいたずらに、堪忍袋の緒が切れ、普段人を叩くことがめつたになかった金雄先生も、思わずその生徒を叩いてしまった。だがやはり暴力はいけなないと、親御さんに謝りに行ったら、逆に感謝されたという。叱ってくれるありがたいと感じ、今でも忘れられないそう。後に、その生徒のボスが

悪さを指示していたとわかり、そのことを知らずに叩いてしまったと後悔もしたが、そのボスも、数年後の同級会では、兼雄先生を気遣い、ひとり最後まで見送ってくれたそう。みんな、良き大人に成長してくれていたと喜んでいた。

お酒は80歳になってから

金雄先生は授業中、生徒にアルコールの種類の説明をしていた。メチルアルコールは税金はかからない。だがエチルアルコールは、酒として税金が沢山かかっている。そんな高い税のかかる酒を飲むのは無駄だと、「アルコールは80になるまでは飲まない！」と生徒の前で約束をしたそう。それ以降実際に約束を守り抜いた。

80歳になってから、そろそろ飲もうかと思ったのは、雪明か

りの打ち上げの時。禁酒のいきさつを仲間に話して、お酒を飲んでみたそうだが、美味しいとも思わなかったし、無理をして飲む必要もないと思ったそう。

多彩な趣味

小規模学校の赴任が多かったため、理科以外の授業もする必要があった。そのため講習を受けて美術、技術家庭、習字なども教えていた。その経験が今の趣味となっているそう。書道、絵、切り絵、かんじき作り、冬には雪像造りもするそうで、手先の器用さがうかがえる。

「元気の秘訣は、常に体を動かし働くこと、考えること」と話す先生。キミさんと二人で米、野菜づくりにも励んでいる。そして毎日、日記もつけている。「人生の大先輩に学ぶことが多い。」

地区からのおたより

忘れられない 故郷の様子今

泉沢区長 米沢 盛男

イベントです。

ふるさと交流事業で町（村）を離れた出身者と連携を深めべく、猿橋地区の「二本杉通信」の第2巻発行にあたり、泉沢地区の様子を紹介します。

まず顕著なのは高齢化率（65歳以上の人口比）の高さかと思えます。地区の高齢化率は町全体平均を上回り、約2人に1人が高齢者に該当します。

しかしそんな中、先人達が苦勞して完成させた地区の西山を通る用水路の維持に、水利組合・農業団体そして区民が共同作業で保全し、農地への供給災害対策に大きく寄与しております。

年間行事では正月元旦に歳祝い・新年交賀会が開催されます。まもなく40周年を迎える大きな

2月の「雪あかり」にしわが「では地区内（水無野）・田中 四谷 中島）（和賀蛭子森）各班で構成した3か所で雪像を作り口ウソクを灯します。

雪解け後には前述の堰普請をします。観桜会も楽しみの一つで、各班で実施しております。お盆近くには夏祭りを予定しており、秋には敬老会や稲荷神社祭典となります。それぞれの開催にはベテランと若手がうまくかみ合い、それを区や公民館等が支える形で進めればと考えます。

帰省の際には是非ご参加ください。大歓迎です。



川漁

- ガラス箱 ガラス箱を見ながら、泳いでいたり隠れている魚（主にカジカ）をヤスで突いて捕った。
- 潜り 誰かがダイナマイトで魚捕りした後、沈んで放置された魚を潜って拾ったり、ヤスを持って川底に潜んでいるサカナを突いて捕ったりした。
- 釣り 遊びとしての釣りはあまりなかった。記憶にあるのはデロフナッコ（実名不明）釣り
- 手づかみ 浅瀬でカジカを見つけて手づかみに集中した。冬は川岸に潜んだ越冬魚を軍手で手づかみ。
- 川止め 交互に川止めし、涸れついた方から色々な魚捕りをした。
- カジカの卵採り 昔はカジカの卵が多かった。浅瀬に頭出している大きな石の下にこびりついた卵をかき集めて持ち帰った。
- その他 2人で手拭いで追い込んで、すくって川岸に小池を作って放して遊んだ。石に隠れた魚に電気ショックなどを与えたりもした。



八年橋上流の川遊び

プールのなかった昔は、夏休みにはどこの川でも多くの子供たちが川遊びでにぎわったものです。事故の心配から、大人たちが交代で監視した記憶があります。



和賀橋下でかじか獲り

昭和30年頃は、子供たちだけでなく、大人も一緒になってガラス箱で「かじか」捕りをするのが、一つの楽しみでした。捕ったカジカは乾燥してから、みそ煮でおいしく食べたものです。



水害

昭和30年におこった大水害の様子。大変な災害で、松川橋は半壊し、落ちて流されました。八年橋は仮の橋がかけられました。

なつかし 猿橋学区

～川・橋にまつわる思い出たち～

川橋

落橋流出した松川橋



流失した八年橋の仮橋



八年橋下の消防演習

昭和40年頃の消防演習の様子。村の消防団の行事の一つである消防演習が八年橋のたもとで行われたのを何度か見学した記憶があります。たくさんの方が見学者でにぎわったようです。



子供達による八年橋雪払い



八年橋の付け替え工事

昭和45～46年には、八年橋の付け替え工事が行われました。

